

TADANORI YOKOO

HANGA



JUNGLE

横尾忠則

HANGA JUNGLE 展 2017 4.22 SAT - 6.18 SUN 町田市立国際版画美術館

●月曜休館 平日10:00-17:00(入場は16:30まで)土日祝10:00-17:30(入場は17:00まで) ●観覧料一般800(600)円/大学・高校生+65歳以上400(300)円/中学生以下は無料*()内は20名以上の団体料金*4月22日(展覧会初日)は入場無料 *身体障がい者手帳、要の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額 ●主催 町田市立国際版画美術館、東京新聞 ●東京都町田市原町田4-28-1 Tel. 042-726-2771/0860 <http://hanga-museum.jp/> ●問合せ 町田市イベントダイヤル 042-724-5656

HANGA JUNGLE 展

2017. 4.22 SAT - 6.18 SUN

●休館日＝月曜日 ●観覧時間＝平日10:00～17:00(入場は16:30まで)土・日・祝日10:00～17:30(入場は17:00まで) ●入場料＝一般800(600)円／大学・高校生・65歳以上400(300)円／中学生以下は無料 ＊()内は20名以上の団体料金 ＊4月22日(展覧会初日)は無料 ＊身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額
●主催＝町田市立国際版画美術館／東京新聞

縦横無尽な創作を続けるアーティスト・横尾忠則(1936年生まれ)は、1960年代から今日まで「HANGA」の制作に積極的に取り組んできました。

本展は、「版画」の枠を超えた横尾の作品群を「HANGA」と称し、横尾の創作活動の全貌に迫ることを狙いとしています。様々な生命が共生するジャングルのように、約250点の「HANGA」が展示室を埋め尽くします。直感や衝動を原動力とする横尾の創作姿勢の今日的意義と、現代版画の未来を探る大回顧展です。



HANGAの大回顧展

新作を含むほぼ全版画に相当する約230点と、これまでポスターと見なされてきた「版画」作品約20点を合わせ、約250点を展示します。1960年代から最新作までのHANGAの全貌が明らかになる大回顧展!!

ここはジャングル!? 圧巻の展示空間!

横尾のHANGAが展示室の壁を埋め尽くします。常に制作スタイルを変え続ける横尾のHANGAが並ぶとそこは、多種多様で複雑な生態系が形成されたジャングルのよう。展示室が総天然色の空間に変わります!!

「超」のつくHANGAが見られます

巨大なHANGA、絵画のようなHANGA、ポスターのようなHANGAを展示します。「版画」のイメージを変えてしまう「超版画」を一挙公開!!



1 《風景No.13 赤猫》1969年/シルクスクリン/個人蔵
2 《Red Wonderland》1973年/シルクスクリン/横尾忠則現代美術館蔵
3 《No.6》1980年/シルクスクリン/横尾忠則現代美術館蔵
4 《予兆の刻 IV》1989年/シルクスクリン/町田市立国際版画美術館蔵
5 《ターザンがやってくる(緑)》1974年/シルクスクリン/横尾忠則現代美術館蔵
6 《今昔物語/お堀》1991年/シルクスクリン/町田市立国際版画美術館蔵
7 《Shanghai Hi-Yoo Koo Soo》2010年/シルクスクリン/町田市立国際版画美術館蔵



関連イベント

関連イベントの情報は当館 **ホームページ** に随時更新いたします。
横尾忠則本人が登場するイベントもあります。乞うご期待!



常設展示室
11人のポップ・アーティスト
2017年4月12日(水)～6月18日(日) ※入場無料



〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1 Tel 042-726-2771
小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分
<http://hanga-museum.jp/>
問い合わせ: 町田市イベントダイヤル 042-724-5656
町田市立国際版画美術館